



## 山田 勉 議員 … 2件の一般質問

### 旧東陵中学校の利活用状況

#### 町長：利活用検討委員会で早急に取り組んでいく

**山田** 旧東陵中学校の利活用については、これまでさまざまな議論がされている。

厚生文教委員会では、発達支援センターの話など、一部の町民にも利用されている話もあるが、このままだと負の財産になりかねない。

今年で36年目になる建物だが、昨年議会で視察した時は、卒業生の寄せ書きが黒板に書かれていたり、音楽室の器材も散乱していたりと、子供達の育った学校の後始末もきちっとしなければ、適正配置はいいが、教育行政にも責任があるのではないかと。見解を伺う。

**町長** 旧東陵中学校においては、平成25年3月閉校以来具体的な利活用方針が見い出せずに経過してきている。

昨年12月に電気、水道に係る一部の設備の修繕を行い一般町民への一部開放を行う事とし、新たな目線での利活用策の模索を図ってきている。

現在スポーツ少年団、音楽サークル、絵画、創

作活動等6団体の活動が行なわれている。

5月25日に羊蹄山麓発達支援センターの受託事業者及び町内福祉事業を行っている2法人から相談があり、5月31日に総合政策課、総務課、福祉医療課で利活用検討委員会を立ち上げ、早急に検討を進める事とし、逐次所管委員会へ報告していく。

**山田** 検討委員会を立ち上げたと言う事で安心したが、子供達の学舎の夢だった部分も継続して、暗いイメージを残さないよう頑張るって取り組んで頂きたい。



旧東陵中学校の利活用はどうなるのか

**ふるさと納税返礼品の対応**

**山田** 現在、国内の和牛素牛価格はかつてない高騰となり和牛パブルとも生産者の中で叫ばれるほど肥育農家を圧迫している。

倶知安農高では和牛肥育を行い平成24年4月から地域と連携した取り組みに力を入れている。今年、倶知安産が出荷され具体的な話が進展する段階で中断されている。期間限定ではあるがチャンスをものにできていない。見解を伺う。

**町長** ふるさと納税返礼品は、倶知安の魅力在全国に配信するため、町内の農産物、お酒、お菓子等現在17品目をホームページ上に掲載し、返礼品の選定は町の担当者が提供してもらえ販売業者者に訪問し、制度等の説明をした上で協力をお願いをした後、発送等を委託している業者が販売業者と直接交渉して決定する流れになっている。

牛肉については、町外

業者に卸されている事と、真空包装にできない為、店頭に出す基準を満たせず、町内業者において取扱いができなく、地元農業高校で肥育された倶知安産で非常に魅力ある商品だが、断念せざるを得ない状況となった。

今後においては、委託業者と取扱いの方法等を検討し返礼品として追加できないか検討していく。

**山田** 4月から企業版のふるさと納税の話もある。町の財政が厳しい中考えていくべきだと思ふ。

コミュニケーションしながら周囲の状況及び先の事も考えられるよう頑張ってもらいたい。